



★第3部 in宅老所「井戸端げんき」

23:00開場 23:30～翌朝10:00 (定員30名)

木更津駅西口から徒歩5分の商店街にある在宅老所「井戸端げんき」を会場に、「朝まで語ろう、大討論会」を実施します。コーディネーターはNPO法人井戸端介護の伊藤英樹氏。朝まで徹底的に語りたい！今の現状を打開したい！眠ってしまうかもしれないけど、熱い語り場空間を共有したい！という方、大歓迎です。

同時開催!!

公開イベント

THE UTAGE

in木更津駅前広場
10:00～16:00

駅前ホールがあるアクア木更津ビル前に、屋外ステージ出現!! 福祉系ショップ・フリーマーケットなどの販売ブースをはじめ、どなたでも無料でご参加いただけるセミナーを開催します。

【公開講座】「公開ソーシャルスキルトレーニング(SST)」

主催:パラエティーズ(精神障がい自助グループ)

【ライブ】ジャンベ演奏

他にも盛りだくさんのプログラムを企画中!!乞うご期待☆



開催趣旨

昨今の福祉行政および介護現場における行き詰まりは、決して当事者、福祉従事者(経営者も含む)、福祉行政者の3者において解決できる課題でも、3者のみで解決すべき問題でもないと考えています。

これは、医療や教育、環境といった分野でも同じことですが、広くて大きな現代的課題は、たとえ無理があっても、様々な背景や具体的事例をオープンにし、繋げて考えていかなければ、正確な理解や課題解決、そして新たな時代を創ることはできません。だからこそ、私たちは「それぞれの生のかたち、支え合いのスタイル、生き抜くための手段」をめぐって、探求し、悩み、発見し、発信し続けている様々な方々を招聘した全国セミナー(私たちは「宴」と呼んでいます)を毎年、千葉県木更津市で開催しています。

そしてこの「吹く詩の宴」は、福祉に携わる方々だけに限らず、一般の方々とも、今の時代における、楽しさや生き難さを共有し、それぞれが「誰もがありのままにその人らしく地域で暮らし続ける」ことへの希望と大きなパワーを体感して頂けることを目指します。

宿泊先

ホテル名	電話	料金 (一人あたり)
ホテルロイヤルガーデン木更津 吹く詩の宴へ参加する旨をお伝えください。 割引料金にてご利用いただけます。 (JR木更津駅より徒歩3分)	0438-22-7211	吹く詩の宴 参加者価格 シングル ¥6,426- (朝食無)
グランパークホテルエクセル木更津 吹く詩の宴へ参加する旨をお伝えください。 割引料金にてご利用いただけます。 (JR木更津駅より徒歩2分)	0438-22-4123	吹く詩の宴 参加者価格 シングル ¥6,825- (平日/朝食付)

※表記は、参考の料金となっております。
ご予約やお問い合わせは直接ホテルまでお電話ください。

地図



地域福祉全国セミナー

木更津発!
福祉から
「吹く詩」へ

吹く詩の宴08

ガチンコ
24時間

新しい時代を創る旅に出よう! ~What's Compassion?

2008年
11月8日
(土)

第1部会場
木更津駅前ホール
10:30～18:45
参加費5,000円

第2部会場
ライブハウスグラフ
19:30～22:45
参加費2,500円
(ワンドリンク制)

第3部会場
在宅老所井戸端げんき
23:30～翌10:00
参加費2,000円



会場はJR木更津駅西口です!

公開イベント THE UTAGE 同時開催!!
詳細は裏面をご覧ください。

●主催● 吹く詩の宴実行委員会

●共催● 小規模デイサービス・在宅老所千葉県連絡会

- 後援● 千葉県、千葉県社会福祉協議会、千葉県認知症高齢者グループホーム連絡会、千葉県たすけあい協議会、認知症のひと家族の会千葉県支部、中核地域生活支援センター連絡協議会、プレーメンの星数支援センター、ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、木更津市社会福祉協議会、君津市社会福祉協議会、富津市社会福祉協議会、袖ヶ浦市社会福祉協議会、木更津市民生委員児童委員協議会、君津市民生委員児童委員協議会、富津市民生委員児童委員協議会、袖ヶ浦市民生委員児童委員協議会、全国地域生活支援ネットワーク、在宅老所・グループホーム全国ネットワーク、全国コミュニティライフサポートセンター、毎日新聞千葉支局、読売新聞東京本社千葉支局
- 協賛● 知的障害者更生施設木更津中郷丸、指定相談支援事業所木更津中郷丸、作業所のあ、社会福祉法人翠輝会、特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎/鶴嶺の家、城西国際大学、上総あいらひの郷、上総ゆゆうの郷、上総希望の郷、社会福祉法人広域福祉事業会、財団法人君津健康センター、あすなろ敬愛クリニック、特定非営利活動法人障害児教育・福祉資料センター、有限会社ネットビジネス/チャレンジセンター-LET'Sきさらづ、医療法人社団青空会渡辺歯科医院、たびだちの村BISHA、たびだちの村君津、特定非営利活動法人井戸端介護/縁側よしよ、特定非営利活動法人井戸端介護/井戸端げんき、よろずやげんき有志、株式会社オールプロジェクト つばさ、特定非営利活動法人子ども館ゆめのみこ、菅谷接骨院 (8月12日現在)

お問い合わせ先 吹く詩の宴実行委員会事務局

※電話申込みは込み合いますので、ファックスまたはメールでお申し込みください。

○電話○ 0438-20-3751(チャレンジセンター LET'S きさらづ内)

○FAX○ 0438-20-3752

○メール○ info@chiba-takurou.net

○住所○ 〒292-0831 千葉県木更津市富士見 1-2-1 アクア木更津 8F
チャレンジセンター LET'S きさらづ内

○URL○ <http://fukushibanpaku.blog108.fc2.com/>



PROGRAM

★第1部 in「駅前ホール」

10:00開場 10:30~18:45 (定員170名)

医療、高齢、障がい、児童といった福祉的フィールドで活躍され、現状の問題や課題に対し、社会的メッセージを発言し続けている方に、「分け合う」をテーマに講演して頂きます。

10:00~ 開場

10:30~12:00 【講演】「今、子どもとして、大人として、生きるということ。~子どもとおとなが分け合うということ」

【講師】
●フリーライター 今一生

1965年群馬県生まれ。コピーライターを経て、フリーライターに。企画・編集した『日本一醜い親への手紙』はベストセラー。その後『完全家出マニュアル』で造語した「プチ家出」が流行語に。著書に『親より稼ぐネオニート』(扶桑社新書)、『大人の知らない子どもたち』(学事出版)、『社会起業家に学べ!』(アスキー新書)など多数。

【対談】「子どもと大人のあいだって? ~児童自立支援をめぐるって見えてきたこと」

【講師】
●児童自立援助ホーム 人力舎 代表 高橋 克己

1998年、学校教員や福祉施設職員でアコースティックバンド「人力車」を結成。その後、メンバーの長年の夢であった、様々な理由から家庭で生活することのできない15歳以上のメンバーが暮らす児童自立援助ホーム「人力舎」を2004年に開設。さらに2007年には、児童自立援助ホーム「響の杜」を開設している。

●フリーライター 今一生



12:00~13:00 休憩 (ゆめたまハンドベルリンガーズによるハンドベル演奏)

13:00~14:30 【講演】「医療を分け合う ~地域医療が足りないとはどういうことか」

【講師】
●JA長野厚生連・佐久総合病院 地域医療部 地域ケア科 医師 色平 哲郎

1960年神奈川県生まれ。東京大学中退後、世界を放浪し、医師を目指し京都大学医学部へ入学。1990年同大学卒業後長野県厚生連佐久総合病院、京都大学付属病院などを経て長野県南佐久郡南牧村野辺山へき地診療所長。1998年からこの春まで南相木村診療所長



14:45~15:45 【対談】「地域という“場”を分け合う ~もうひとつの働き方・喫茶論」

【講師】
●地域作業所カブカブ 所長 鈴木 励 滋

1973年群馬県生まれ。栗原彬に政治社会学を師事。横浜市内の築30年以上の団地の商店街で、喫茶店をしたり、絵を描いたり、歌ったり踊ったり、およそ福祉の現場らしくない「地域作業所カブカブ」の所長として障がい福祉に携わる傍ら、演劇やダンスの批評も書いている。

●精神障害者共同作業所hana 代表 筒井 啓 介

1980年神奈川県生まれ。大学在学中、木更津そごう撤退後の8階フロアに木更津市と協働し、「チャレンジセンターLET'Sきさらづ」を開設。NPOや市民起業家の支援に取り組む。その後、「精神障害者共同作業所hana」を立ち上げ、人の個性に合わせた仕事づくりにはげむ。さらに、2008年には「君津圏域・心のバリアフリーマップ」を発表。



16:00~17:00

【対談】「生きづらさを分け合う居場所 ~適当ケア論を大いに語る」

【講師】
●デイケアハウス にぎやか 代表 さかい ゆかこ 阪井 由佳子

病院や老健など大規模施設では個性を大事にした介護ができないと、自宅を開放して、子どもからお年寄りまで、障がいや痴呆の度合いに関係なく誰もが利用できる施設「にぎやか」を開設。介護の社会化よりも町内化、ケアの専門化よりもエロス化を目指す。



●NPO法人井戸端介護 代表 伊藤 英 樹

大学卒業後、画一的な福祉施設の仕事に満足できず、職場を転々とする。2002年に「制度の枠にとらわれず、人として向き合う介護がしたい」と、商店街にあった古い民家を活用して、宅所「井戸端げんき」を開設。2008年には、NHK「ドキュメント・っぽんの現場」でも放映され、今話題の福祉拠点である。

17:15~18:45

【講演】「障がいを分け合う~星子が居るといこと」

【講師】
●環境哲学者・和光大学名誉教授 さいしゅ さとる 最首 悟

1936年生まれ、千葉県で育つ。東京大学理学部動物学科出身。60年代、東大助手時代から全共闘運動にとり組み、第4子の星子さんが障がいを抱えて生まれてきてからは、水俣病問題や障がい者問題に深く関わる。第2次不知火海学術調査団長。著書に『生あるものは皆この海に染まり』(新曜社)、『明日もまた今日のごとく』(どうぶつ社)、『星子が居る』(世織書房)など多数。



★第2部「闇(痛み)を分け合う」~木更津アンダーグラウンド inライブハウス「グラフ」

19:15開場 19:30~22:45 (定員100名)

テーマは「生きづらさの共有」。様々なパフォーマンスを通じて、交流・対話を重ね、出演者・参加者の垣根を越えたコアなイベントです。



19:30~20:00 【ミニライブ】「闇(痛み)を開け! オープンナイツ!!」
【出演】 人力車バンド

20:00~21:00 【公演】「壊れちゃってもいいですか? ~こわれもの者の祭典in木更津」

【出演】
●こわれもの者の祭典 つかの こうじ 月乃 光 司 かつこ Kacco

*都合により出演者の変更がある場合がございます。ご了承ください。

「病気」の体験発表&パフォーマンスイベント。「病気でどう苦しみ、そこからどう回復したか」をユーモアを交えたトークと、その病気に関するパフォーマンスを展開します。アルコール依存症、摂食障害、引きこもりなどの当事者・体験者が出演。

21:00~22:00 【トークライブ】「寄る辺無き時代の希望」

【出演】
●作家 たくち 田 口 ランディ

1959年東京都生まれ。2000年、長編小説『コンセント』を出版し小説家デビュー。その後『アンテナ』、『モザイク』(共に幻冬舎)を発表。『富士山』、『ドリームタイム』(文藝春秋)、『ひかりのメリーゴーラウンド』(理論社)、原爆をテーマにした短編集『被爆のマリア』(文藝春秋)、最新作『キュア』(朝日新聞出版)『生きる意味を教えてください』(バジリコ)など多数。現在は、神奈川県在住の一児の母。配偶者の両親と同居する5人家族。

22:00~22:45 【トークセッション】「世界は闇(痛み)にくるまれて…」

【出演】
●作家 田 口 ランディ 月乃 光 司 Kacco

*都合により出演者の変更がある場合がございます。ご了承ください。